



児童福祉の現場からSOS!! ～千葉地裁判決が問いかけるもの～

10月25日 (土) @千葉県弁護士会 3階講堂 開場 13:30
〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央 4 丁目 13-9 開演 14:00
(16:00終了予定)

参加費無料

事前予約不要

定員 150 名

主催：じそう弁護団ちば

児童福祉の現場からSOS!! ～千葉地裁判決が問いかけるもの～

10月25日(土)

開場 13:30
開演 14:00
(16:00終了予定)

第1部 基調講演

児童相談所と児童養護施設の労働問題 ～子ども・職員双方の人権保障のために～

登壇者：

日本福祉大学社会福祉学部教授、放送大学客員教授
堀場 純矢 氏

堀場 純矢 氏 プロフィール

1975年、愛知県生まれ。金沢大学大学院人間社会環境研究科博士後期課程修了。博士(学術)。社会福祉士。全国児童養護問題研究会編集部長。児童養護施設の児童指導員時代に経営側の不祥事や労働争議に直面し、改善運動に取り組んだことを契機に、施設職員の労働問題と労働組合の役割について研究している。近著に『児童養護施設の労働問題：子ども・職員双方の人権保障のために』（ミネルヴァ書房 2025年）がある。



第2部

「子どもと向き合う時間がほしい」 児童相談所の労働環境改善を！訴訟のご報告

登壇者：

原告 **飯島 章太 氏** 弁護士 **広松 大輝 氏**

飯島 章太 氏 プロフィール

千葉県庁の児童相談所を退職後、2022年7月に未払賃金等を千葉県に求める訴訟を提起。裁判を通じて職員の労働環境の改善を促し、こどもたちのよりよいケアにつなげることが目的。2025年3月千葉地裁で勝訴。控訴審が東京高裁にて10月9日から始まる。現職はフリーライター。著書に『図解ポケット ヤングケアラーがよくわかる本』（秀和システム）。



第3部 パネルディスカッション

登壇者：

堀場 純矢 氏 原告 **飯島章太 氏** 弁護士 **船澤弘行 氏**

コーディネーター：

弁護士 **足立啓輔 氏**

主催団体 プロフィール

じそう弁護士団ちば

千葉県及び全国の児童相談所職員の労働条件改善を目的として、2022年に結成。船澤弘行（弁護団長）、足立啓輔（事務局長）、土居太郎、広松大輝、佐々木喬弘、笠原菜摘、米山和希、高城尚暉、小川夏凜、迫田しのぶ、長利文、徳田裕哉の計12名、いずれも千葉県内の若手弁護士（自称も含む）で構成されている。



活動を寄付で
応援することが
できます

「子どもと向き合う時間が
ほしい」児童相談所の
労働環境改善を！訴訟

